

ちよぼら

みんなで・楽しく・気軽にちよとずつのボランティア

No. 9

(2006.3)

「子ども見守り隊」発足

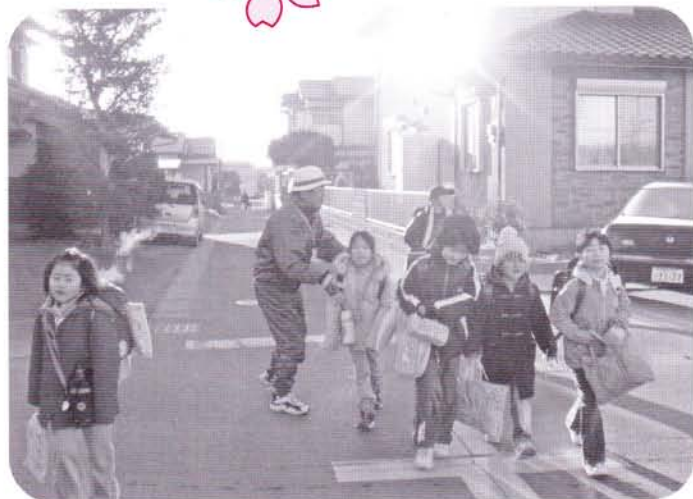
～各校区の子どもの
見守り隊活動の様子～



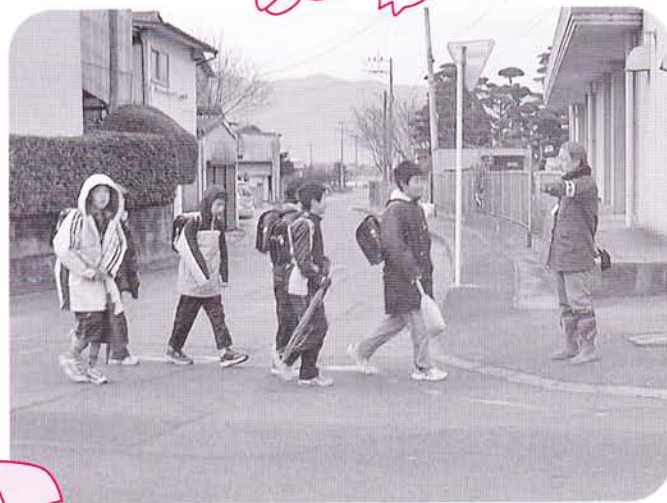
本郷校区



大刀洗校区



菊池校区



大堰校区

「ビューティケアの会」の紹介

私たちは、「ビューティケアの会」と申します。「セラピューティックケア」というハンドケア、首と肩のマッサージ、フットケアの施術サークルです。

現在各区のミニデイからの要請が主な活動の場です。肌と肌の触れ合いを通して、最初は心を閉じていたお年寄りが次第に心を開き、最後には笑顔で「ありがとう」と言っています。

私たちも「施術させて頂いて有難うございます」と心から感謝の気持ちが湧いてきます。

発足して4年目を迎えました。なかなか会員が増えないのが悩みです。皆さん、関心や興味を持たれた方は是非一度、サークルを覗きにきて下さい。

偶数月の第2金曜日の午前9時30分より、ぬくもりの館で定例会を開いています。皆様のご入会をお待ちしています。

代表 平田久美子



ミニデイ笑顔と感謝のひとときをすごしています！

「子供見守り隊」の皆さんの思いを伝えたい

去る2月6日午前10時より、ぬくもりの館で「子供見守り隊」の第1回活動報告会が行われ、ちよぼらの編集委員として同席させて頂きました。

低年齢の児童を巻き込んだ事件が多い昨今「地元の子供たちの安全を見守りたい！」そんなボランティア精神で隊に登録された皆さんは、小学生児童の登下校時間帯に合わせ、ご自宅周辺の通学路で、子供たちを温かく見守って下さっています。

報告会ではひと月の実働を踏まえ「名札でしか隊員と分からないので、遠くからでも分かるような物を身に着ける方が良いのでは」などの活発な意見や「子供達が“ありがとうございます”とお礼を言ってくれるのが嬉しい」と、やりがいを感じてある方のお話など、たくさん聞く事が出来ました。

また、当初30名だった会員は現在79名に増えたものの地域によってはまだ十分ではなく「独りで3時間近く立つ日もある」と話された方など、皆さんが自分の孫を案ずるような思いで、自分に出来る活動をされている姿勢に胸が熱くなりました。

間もなく桜が満開を迎える頃には、ピカピカの新一年生も入学してきます。

「気をつけてね」「ありがとうございます」

そんな爽やかな挨拶が自然に交わされる町であってほしいしそんな輪が広がって行く事を心から願っています。

編集委員 Y・K



【ボランティアフェスティバル】島田洋七講演会に参加して

「もみじまんじゅう」で有名な島田洋七さんは、小学校二年から中学卒業までの七年間を佐賀の母方の祖母に預けられ、多感な少年時代を、豊かな自然と人情味溢れる土地柄の中で育ったそうです。

祖母、彼のいう「がばいばあちゃん」はとてもユニークで底抜けに明るく、貧乏を楽しんで生活する逞しい女性です。彼女は女手ひとつで七人の子供を育て上げ（中には、一人てんかん症状を持つお子さんもいらっしまった様です）地域の人達を愛し、全てをポジティブに捉える素晴らしさを持った人でした。

「人に気付かれないのが本当の優しさ、本当の親切」、がばいばあちゃん語録はたくさんありますが、さらりと云ってのける言葉の中には、とてつもなく深い意味あいが込められていて、ガンと頭を殴られる思いがしました。

洋七さんは、おばあちゃんとの生活の中で、人間としての真実や大切さを多く学び、今の自分があるのもおばあちゃんのおかげ、と云っておられました。

さすがお笑いのプロ、機関銃の様な早口と巧みな話術で、会場を笑いの渦に巻き込み、アツという間に時間が過ぎてしまいました。私達に、いい生き方とは何だろうと、考えさせてくれる機会を与えて頂きました。ありがとうございました。

それにしても、一昔前には「がばいばあちゃん」の様な人はたくさんいた様に思うのですが、物質的豊かさは精神的豊かさを奪ってしまうのでしょうか。 — F —

朗読研修会（佐々木先生）の講習を受けて

大刀洗中1年 石橋 あゆみ

2月19日、フリーアナウンサー佐々木先生による約2時間の研修を受けました。

私は放送委員として出席しましたが、日常に役に立つ言葉のアクセントなどを、くわしく説明していただきました。

佐々木先生の説明はとても分かりやすく、一言一言が大切なことでした。そして、改めて日本語はとても難しいなあと感じました。

これを機に放送委員として、日常の生活でも、言葉の区切りや、アクセントなどをしっかりしていきたいです。

初めは少し難しそうだったけれど、実際研修を受けてみると、とてもためになることばかりで、自分自身日本語の使い方が少し上手になったなあと思いました。

朗読研修をけて本当によかったです。



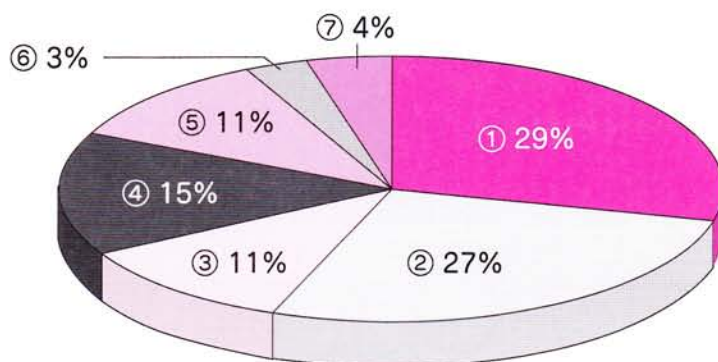
ボランティアに関するアンケート結果

平成18年3月12日、大刀洗町ボランティアセンターが設立されました。そこで、大刀洗町の住民の方に、ボランティアに対するお考え・ご要望などをお伺いし今後のボランティアセンター事業を進める上の参考にさせていただくために、年代別、男女別、地域別に600名を選出し、郵送によるアンケート調査をしました。227名(37.8%)の回答がありました。主な項目をグラフ化し、記述式に記入いただいたものをいくつか紹介します。

「今後、ボランティアをしようと思えますか」という問に55%、2人に1人強の人が「思う」ということでした。

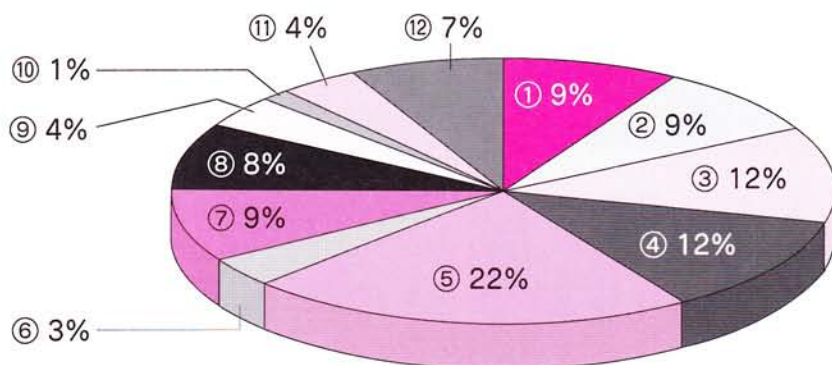
「ボランティアでつくる町づくり」「住民参加の町づくり」を進めましょう。

● ボランティアに対する印象



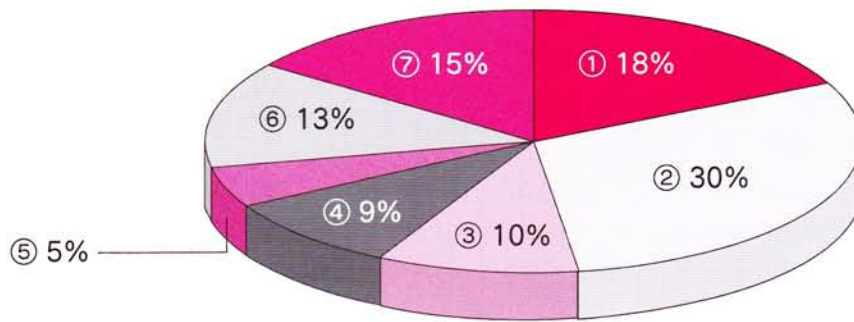
- ①まわりの人に役だっている
- ②地域のために役立っている
- ③生きがいがある
- ④特技や資格をいかしている
- ⑤時間があるひとがやっている
- ⑥特に考えたことがない
- ⑦無償で何でもしてくれる

● どんなボランティアがあったら参加するか



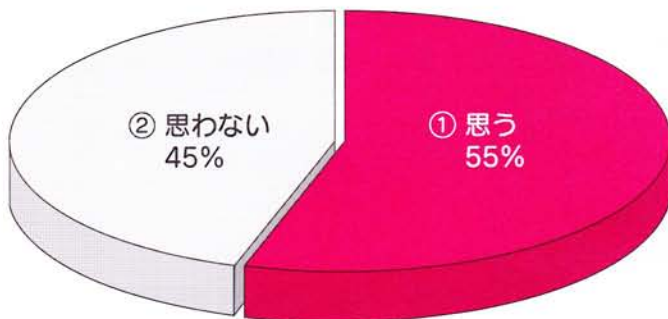
- ①庭の手入れ
- ②家事
- ③外出介助
- ④子守り
- ⑤話し相手
- ⑥力仕事
- ⑦簡単な修繕
- ⑧代筆・代読
- ⑨手話
- ⑩点字
- ⑪演芸
- ⑫その他

● ボランティアを始めたきっかけ



- ①興味があったから
- ②友人に誘われたから
- ③時間に余裕があったから
- ④身近に困った人がいるため
- ⑤資格・特技を活かすため
- ⑥生きがいを見つけるため
- ⑦その他

● 今後ボランティアをしようと思うか



- ボランティアに対してどのような印象を持っていますか？
 - ・皆さんと接することで生きがいを感じる
 - ・ボランティアにもそれなりの責任が出てくるので「自己満足」だったらしない方がよい
- どんなボランティアがあれば参加したいと思いますか？
 - ・災害時のボランティア
- ボランティアを始めたきっかけは？
 - ・人と接することが好きだから
 - ・区長、民生委員、老人クラブより進められて

菊池小5年生危険箇所マップづくりに見守り隊も協力

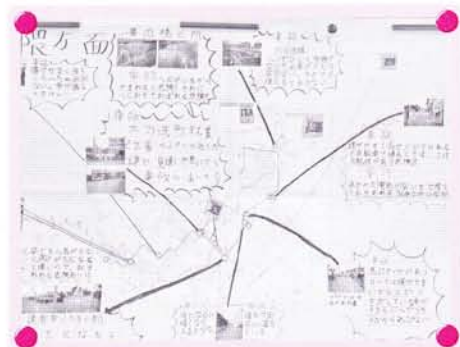
菊池小学校の5年生が「総合的な学習」として通学路の危険箇所マップを作成しました。

これは、4月に新1年生を迎えるにあたり「最高学年になる自分たちが通学路のどこが危険なのかを調べ、新1年生にわかるように伝える」ということを目標に取り組んでいるものです。

通学路を調べる際には、菊池校区の「子ども見守り隊」の会員さんたちも協力し子どもたちと一緒に歩き、危険箇所を確認しあいました。同行の会員さんたちも「子どもの目線で感じる事が大事。一緒に歩くことでお互いに身近になった。」との思いを持ったそうです。

マップは、学団ごとに事件・事故の両面から危険箇所を色分けして示したり、「子ども110番の家」を表示したり工夫がこらされています。

また、紙芝居やVTRなど、マップをよりわかりやすく伝えるための方法を出し合っ、最終目標である新1年生を迎えた4月の学団会での発表に向けてさらに準備が進められています。



お譲りください！ 不要になったノートパソコン

私たち凸凹の会は、点字の自主勉強サークルです。

点字プリンタでの点訳作品の作成のため、不要になったノートパソコンを探しています。お譲りいただける方、ご連絡をお待ちしています。

※Windows 98以降のノートパソコンで使用可能なもの

連絡先 大刀洗町ボランティアセンター ☎77-4877 (担当 平田幸子) まで

ボランティア登録のお誘い

- 「料理を作るのが好き」
- 「子どもと遊ぶのが好き」
- 「パソコンができる」
- 「竹とんぼ・こままわしが得意」
- 「散歩ついでに子どもの見守りをしよう」など・・・

好きなこと・得意なこと・昔よくやっていたことなど、できることをできる時にちょっとやってみませんか？

ボランティアセンターでは、皆様の登録をお待ちしています。

お問い合わせは、大刀洗町ボランティアセンターまで ☎77-4877

“ちょぼら” 地域特派員募集

皆様の地域での小さなボランティア、ちょっとした話などを取材して記事を書いて下さる方、または情報を提供して下さる方を“ちょぼら地域特派員”として募集しています。

大刀洗町ボランティアセンターまでご連絡ください。



ボランティア活動に関する情報、ご意見、ご感想やお問い合わせは、

「大刀洗町ボランティアセンター」まで

TEL: 0942-77-4877

FAX: 0942-77-4877

編集後記

ボランティアに関する意識調査の結果では町内の皆さんのさまざまなご意見を知ることができました。ボランティア活動に肯定的なご意見、否定的なご意見、関心を持ってくださる方、あまり関心のない方など、まだまだ、私たちの広報活動が足りないことを実感させられました。皆さんにもっと関心を持っていただけるような紙面作りができるように、スタッフ一同、取り組んで行きたいと思っています。これからも皆様のご支援とご協力をお願い致します。

M. T

スマイル



代表 戸塚 幹 栄
福村 宮 生
福村 地代 充
川端 好 江

編集スタッフ